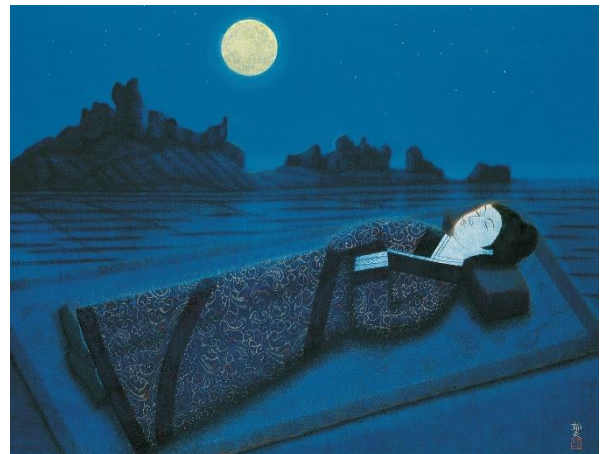


【開催概要】

生誕 90 年 HIRAYAMA IKUO

平山郁夫展

悠久のシルクロード


 広報画像
 ①

 《都善国妃子（楼蘭の王女）》 1976 年
 箱根・芦ノ湖 成川美術館 蔵

戦後日本画の世界に大きな足跡を残した平山郁夫（1930-2009）。本年は平山郁夫の生誕 90 年の節目にあたります。

戦後の院展において確固たる地位を築いた平山は、《仏教伝来》（1959 年、再興第 44 回院展）の入選を機に、仏教伝来の道・シルクロードを生涯のテーマとして画業を推進。1968 年にアフガニスタンを初めて訪れて以来、シルクロード各地を巡った平山は、40 年間に百数十回を超える旅の中で、シルクロードシリーズを描き続けました。

平山の手がけた作品の中でも、代表的なモチーフとされる砂漠の中で歩みを進めるキャラバン隊は、東西の交易が盛んに行われていることを示す、まさに平和の象徴でもありました。15 歳で原爆の被爆という難に出遭い、仏教にその救いの道を求め、シルクロード各地で平和の祈りを込めて筆を走らせます。

本展では、悠久の歴史ロマンにより紡がれてきた大いなる道・シルクロードを旅した平山郁夫の足跡を、大画面作品を中心に紹介し、その画業をふりかえります。

展覧会実施概要

- ◆名 称：生誕 90 年 平山郁夫展 悠久のシルクロード
- ◆会 期：2020 年 9 月 5 日（土）～11 月 23 日（月・祝）
- ◆開館時間：午前 9 時 30 分 ～ 午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
- ◆休 館 日：月曜日（祝日の場合は開館）、9/23、10/20～23
- ◆入 館 料：一般 ¥1,000 高大生 ¥600 中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要
 - ※ 専門学校・専修学校は大学に準じる
 - ※ 障害者手帳をお持ちの方（手帳をご提示ください）、付添者（1 名のみ）無料

【主 催】佐川美術館 [公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団]

【後 援】滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会、BBC びわ湖放送

【特別協力】呉市立美術館、奈良県立美術館、公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館、高島屋史料館、彫刻の森美術館、箱根・芦ノ湖 成川美術館、平山郁夫シルクロード美術館、平山郁夫美術館、名都美術館

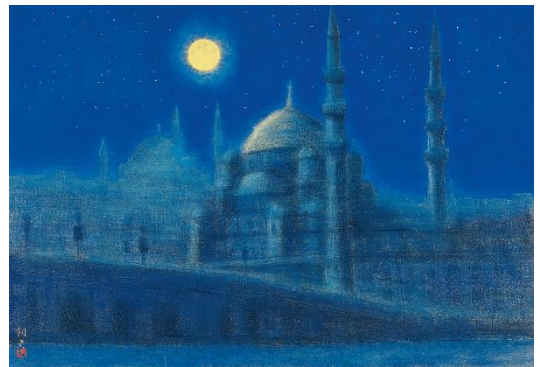
【協 力】SG ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を変更する場合がございます。公式ホームページやツイッターをご覧ください。

みどころ

■ 平山の鮮やかな色彩をご堪能ください

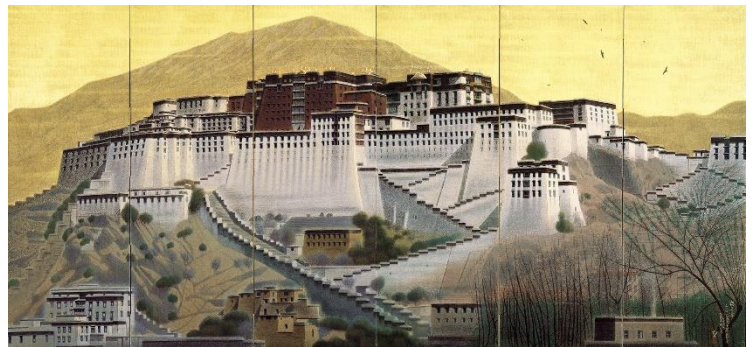
幼い頃を過ごした故郷の海のどこまでも深く青い群青の色は、深い神秘的な色として平山の心の中に刻まれました。楼蘭遺跡で発見されたミイラに思いを馳せて描いた《鄯善国妃子（楼蘭の王女）》などには、“平山ブルー”と称される青色が使われており、平山の飽くなき青色への探求心がうかがえます。日本の伝統的な画法を忠実に守り続けた平山郁夫作品ならではの魅力を味わうことができます。



《籠月夜ブルーモスク イスタンブール》 2007 年
平山郁夫シルクロード美術館 蔵

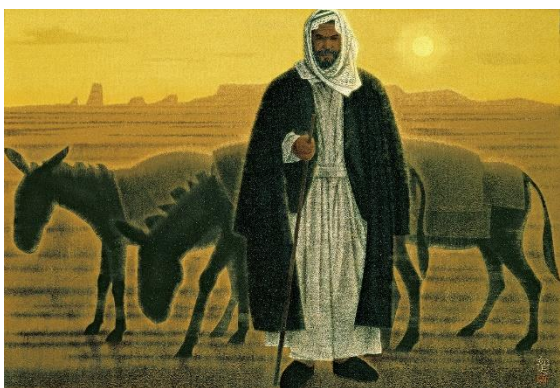
■ 大画面に描かれた名品が勢ぞろい

平山は院展（日本美術院の公募展）を主要舞台として作品を発表してきました。院展に出品された作品は、特に大画面（屏風装）で構成された作品となり、平山独特の色彩豊かで叙情的あるいは幻想的な作風と相まって、見る者はその場にいるかのような空気感や臨場感を味わうことができます。



《西藏布達拉宮》 1977 年 名都美術館 蔵
前期展示：9月5日（土）～10月11日（日）

■ 生涯をかけて旅したシルクロードの軌跡を紹介



《オリエントの曙》 1971 年
箱根・芦ノ湖 成川美術館 蔵

広報画像

2

平山がシルクロードを旅したきっかけは、東京藝術大学の中世オリエント遺跡学術調査団の一員として、トルコのカッパドキア地方に派遣されたときでした。荒涼とした砂漠が広がる光景を目の当たりにし、毎日同じポイントでスケッチを繰り返しているうち、砂漠の見せる表情の変化を少しずつ感じ始めたといいます。東西文化交流の道である、シルクロードを行き交うキャラバン隊に平和を見出し、厳しい天候や渇き、飢えにひたすら耐え、シルクロードを往来した古の旅人たちに温かなまなざしを向けながら、その姿を鮮明に描きました。また各地を訪れたなかで、イスラム教や仏教といった異なる宗教観での争いが引き起こされる地域を訪れ、平和の祈りを込めて筆を走らせた作品が数多く知られています。平山が生涯をかけて描いた、悠久の歴史を有するシルクロードの風景をご覧ください。

■ 作家紹介

平山 郁夫（ひらやま いくお）

- 1930 年（昭和 5） 広島県豊田郡瀬戸町北町（生口島）の旧家に生まれる。
- 1945 年（昭和 20） 修道中学 3 年生の時、学徒勤労動員先の広島陸軍兵器補給廠で作業中に被爆。
- 1952 年（昭和 27） 東京美術学校日本画科を卒業。卒業制作《三人姉妹》は同校買上げとなる。東京藝術大学日本画科の副手となる。主任教授は前田青邨で、以後師事する。
- 1953 年（昭和 28） 第 38 回院展に《家路》が初入選する。
- 1955 年（昭和 30） 前田青邨夫妻の媒酌により、東京美術学校の同期生・松山美知子と結婚する。
- 1959 年（昭和 34） 第 44 回院展に《仏教伝来》が入選。以来仏伝とシルクロードにテーマを求めたシリーズの制作が続けられる。
- 1962 年（昭和 37） 10 月第 1 回ユネスコ・フェローシップによるヨーロッパ留学に出発（翌年 5 月に帰国）
- 1966 年（昭和 41） 6 月から 10 月にかけて東京藝術大学第 1 次中世オリエント遺跡学術調査団に参加、トルコ・カッパドキアの洞窟修道院の壁画を模写する。
- 1968 年（昭和 43） 7 月から 8 月にかけてアフガニスタンから中央アジアを巡る。以後、毎年のようにシルクロードと仏跡の取材を行う。
- 1984 年（昭和 59） 11 月、薬師寺玄奘三蔵院の壁画制作に着手。玄奘三蔵の歩みを描くこの壁画は、西暦 2000 年 12 月 31 日の完成をめざす。
- 1988 年（昭和 63） 文化財保護振興財団が発足し、理事となる。ユネスコ親善大使に任命される。
- 1989 年（平成 元） 東京藝術大学第 6 代学長に就任。
- 1991 年（平成 3） 文化交流・文化財保護への貢献に対しフランス政府よりコマンドール勲章を授与される。
- 1993 年（平成 5） 芸術研究振興財団理事長となる。東京藝術大学学長に再任される。
- 1994 年（平成 6） 文化財保護振興財団理事長となる。
- 1998 年（平成 10） 11 月、文化勲章を受章。
- 2000 年（平成 12） 構想以来約 30 年を経て、薬師寺玄奘三蔵院画殿に《大唐西域壁画》が完成。
- 2009 年（平成 21） 12 月 2 日、永眠。



イベント情報

砂絵ワークショップ 【事前予約制】

- 実施日時 : 9月19日(土) 午前の部 10:00、午後の部 14:00 (各 60~90分)
- 定員 : 各回 15名 ■対象 : 小学3年生~中学生 ■参加費 : 300円
- 申込方法 : 8月20日(木) 9:30から佐川美術館ホームページ申込フォームにて受付開始。
詳細および注意事項はホームページをご覧ください

※野外アートステージで実施します。(小雨決行) 荒天時は開催を中止しますので、予めご了承ください。

●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データ（**広報画像と記載されているもの**）をご用意しております。画像データをご希望の方は、同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

当館ホームページ(<http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/press/>)から画像申請も受け付けております。その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会の広報以外でのご使用はお断りしております。トリミングなどの画像の加工はご遠慮ください。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効の**ご招待券を 10 枚**までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の**作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）**に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内：

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由 （約 30 分）
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由 （約 30 分）
- 名神高速京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由 （約 30 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 35 分）
 - JR 湖西線堅田駅から路線バス 「佐川美術館」下車 （約 15 分）
-

◆連絡先◆

佐川美術館（公益財団法人 SGH 文化スポーツ振興財団）

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員：藤井 康憲（ふじい やすのり）

y_fujii010@sagawa-artmuseum.or.jp

